



モエワ★カムイ

NO. 56
AUG 1999

●モエワ・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。



あさひやまどうぶつえしニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS

もくじ

シリーズ

「ぼくは動物大使」

その17 ニホンザル 2.3

特集

「さる山」ついに完成 4.5

ようこそ!! 旭山動物園

ホームページへ 6

動物園事情

動物病院 VET ニュース 7

クイズ

できごと

飼育動物数

編集後記 8

ニホンザル
Macaca fuscata



ぼくは、

動物大使

その17 北限のサル ニホンザル

ニホンザル

Macaca fuscata

北海道・佐渡島・対馬・沖縄などをのぞく日本全国に生息。本州最北の地、青森県下北半島に生息するニホンザルは、ヒトを除く霊長類の中で、もっとも北まで分布していることから「奇跡のサル」、「北限のサル」と呼ばれています。

餌付けによる個体数の増加と森林伐採などによる生息環境の悪化により森を離れたニホンザルが人里近くに下りてきて、農作物を荒らすなどの猿害は各地で深刻な問題になっています。「東京都心部にサル出現」のニュースは記憶に新しいところです。

毎年多くのニホンザルが有害鳥獣駆除の名目で捕獲され地域的な絶滅が起こっていると考えられています。

旭山ZOOのサル軍団 (22頭)



目

顔の前にあり、ものを立体視できる

鼻

細く鼻すじが通っている。

ほお袋

餌をほお袋につめ込み安全な場所に移動して食べる。

毛

夏毛と冬毛がある。特に寒い地方にすむサルの冬毛は長くてモコモコ。

群れ

20~150頭。数頭のおとなのオスとそれ以上のメスと子どもたちで構成。母系複雄複雌型。

個体識別

群れで飼育する動物を管理するうえで、それぞれの個体を識別することは、とても大切なことです。しかし、ニホンザルのように、どれも似たような顔をしたのが数十頭もいると、なかなか見分けがつかえません。旭山動物園ではサルたちの体にマイクロチップを埋め込みました。それを機械で読みとると、それぞれの個体番号が表示されるというすぐれものです。これなら確実に識別でき、しかも半永久的に使えます。それでも何とかサルの顔や体格を見て「あれはアイツだ。」と判るように、飼育係は毎日サルとにらめっこをしています。

ニホンザル

霊長目オナガザル科マカク属

ニホンザルは本州にすむニホンザル（ホンダザル）と屋久島にすむヤクシマザルの2亜種に分けられます。

体

がっちりした体格。

体重 オス10~18kg

メス8~16kg

頭胴長 オス54~61cm

メス47~60cm

餌付けされてるサルは

もっと大きい。

赤

顔とお尻が赤い。特に交尾期には鮮明になる。

しりだこ

お尻の左右にあり、かたい。長時間座っていてもお尻は痛くならない。まさに座布団。

尾

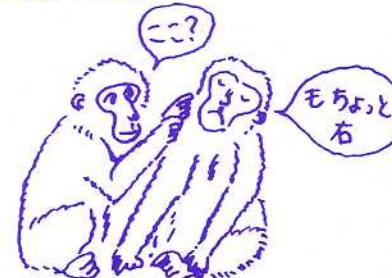
短い。10cmぐらい。

ニホンザルの分布



グルーミング

サルたちを見ていると、このグルーミング（毛づくろい）行動がよく見られます。毛づくろいには、毛についたゴミやフケを取る衛生上の効果もありますが、親しさを表す行動でもあり、血縁間でよく行われます。毛づくろいは、一般にノミ取りと言われますが、サル類にはシラミはつきませんが、ノミはつきません。霊長類のなかでノミがつくのは、実は人間だけなんです。



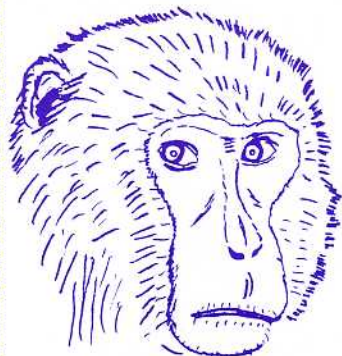
サルの話

ニホンザルは、私たち日本人にとって、昔からとてもなじみの深い動物のひとつです。さる・かに合戦や桃太郎などの昔話や、サルの芸を見せる猿まわし、最近では日光猿軍団などで私たちを楽しませてくれます。

しかし、一方でニホンザルは、農作物を荒らし、時には人家にまで侵入し悪さをする悪評高き「害獣」とされています。今でこそ野猿公園などでいつでも野生のニホンザルを見ることができそうですが、もともとは人間を恐れ森の中でひっそりと暮らしている彼らに会うことは、めったになかったはずなのですが……。

1950年頃から西日本で野生のニホンザルの調査・研究が始められました。これは餌付けにより、サルを間近に見ることでその行動や群れの社会性、個体数の把握などを目的とするものでした。しかし餌場はいつしか人々が集まる観光地となり、サルたちは観光客から直接餌をもらうまでに人慣れしてしまいました。豊富に与えられる餌により、繁殖率が高まり、個体数は一気に増加しました。過密になった森林はサルたちに食いつぶされ、また、大きくなった群れはいつか別れ、餌場に来られない群れが、農作物や果樹園を荒らすいわゆる「猿害」が発生しました。

餌付けによるニホンザルの調査・研究によってサル学の研究上、世界的にも大きく貢献したのも事実ですが、人を恐れなくなり人から餌をもらう野生のニホンザルを作ってしまったのも、また事実なのです。「猿害」と「半野生ザル」どちらも深刻な問題です。



「新さる山」 待望のオープン!!!

30年間みなさんに愛された通称「サル壺」がついに新しくなって7月25日オープンしました。「ニホンザルの能力を展示する」をテーマに設計しました。サルが能力を発揮できる施設→サルが楽しくすごせる→見る方も楽しい。

ニホンザルが生息環境を再現する「生態展示」だけにとらわれず、山から下りてきたサルたちが小さな公園で遊ぶ、そんなシチュエーションです。

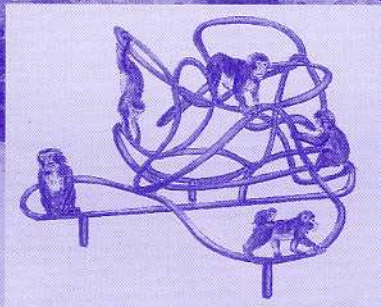
では見どころ紹介

トウヒ
木だけは電気で守ります。
いたずらしなくなったら
登らせたいな。

トンネルを通りながら
サルをのぞいてみよう!

さる山の中と、お客さんの側に同じ遊具がある
何気なく見ているサルの動き、みんなはどこまで
出来るんだろう。サルに挑戦!

傾斜地に立つさる山。
目の前に遊ぶサルたち
そしてこどもたち。
ヒトとサルの比較展示?



サルも木から滑る。滑っちゃ困ります。
高さ14メートルの偽木。
見晴らしは最高だろうな。
暑い日にはシャワーもできるんだ。

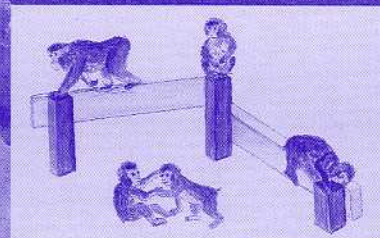
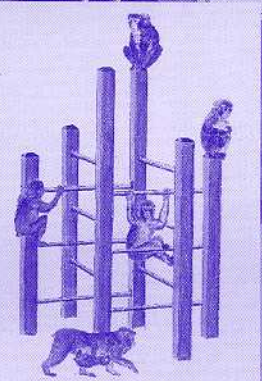
さる山ゲート
登って遊んでもいいよ!

飼育係の転落防止用フック
サルに笑われそう。

水車もどき
水道水で水車は回せません。
水道代が大変です。
サル版ハムスター回しです。

芝生
そのままでは根こそぎになっちゃいます。
綱の目から伸びてきた芝生はどうぞ自由に
むしってください。

見晴らしテラス。
夕日がとてもきれい!

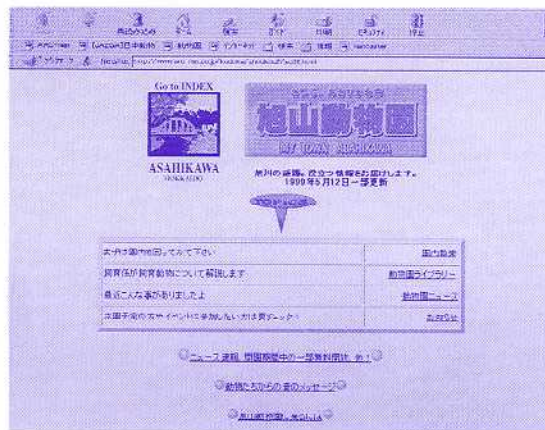
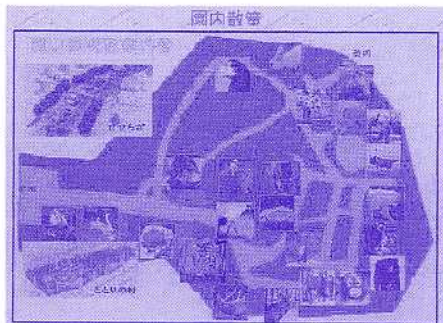


ようこそ!! 旭山動物園ホームページへ

昨年より、旭山動物園にもホームページができました。飼育係の手作りで、私たち旭山動物園の職員でしか解らないことや、なるべく現場からの声を伝えていきたいと思い、制作しました。

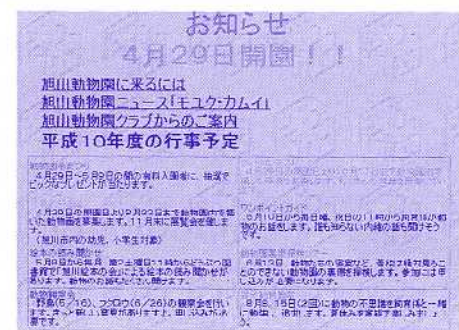
●園内散策

動物園の地図に動物の顔がついており、そこをクリックすると、その場所にいる動物たちの説明が出てきます。ニュースやトピックス的なものを簡単に紹介しています。



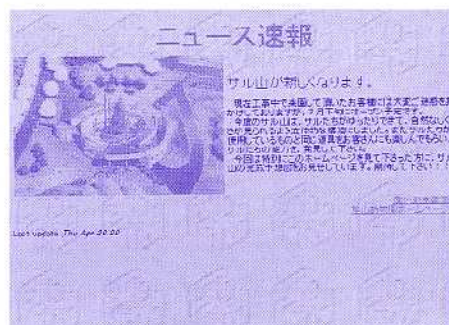
●お知らせ

動物園の年間行事や動物園に来るための交通機関や道案内、機関誌「モククカムイ」の紹介、動物園くらの紹介などがあります。



●ニュース速報

最近あったことや近々完成する施設の紹介などを行っています。



●音のメッセージ

旭山動物園にいる主な動物の声を聞けます。



●動物園ライブラリー

動物園で飼育されている動物の説明です。野生の状態、飼育個体の紹介、飼育係からのコメントなどが見られます。



以上簡単に説明しましたが、これからもどんどん新しい情報や内容を充実させていきたいと思えます。

メールアドレスは <http://www.arc-net.co.jp/kodoka/shoukou2/sc02.html> です。ぜひ一度見に来て下さい。

動物園事情

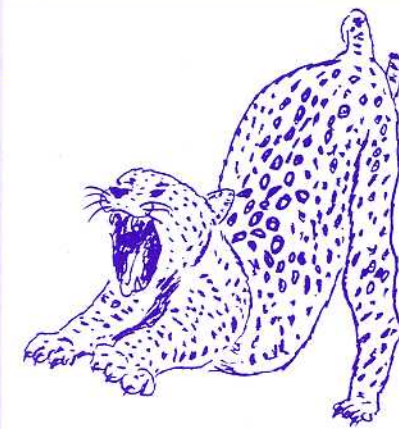
動物園の役割 その4

近年、自然環境の悪化や動物生息地の減少などで、野生動物の生存が危ぶまれるようになり、生息環境の保全が叫ばれる中、肝心の野生動物が姿を消してしまう事態となる状況も出始めてきた。野生動物を絶滅から救うために、生息環境を保全する活動と平行して、一定の個体数を確保しておく必要がでてきた。いわゆる“種の保存”である。長期間、個体数を維持するためには、遺伝的な多様性を維持しながら計画的に繁殖させていかなければならない。

そこで、注目されてきたのが、動物園の持つ技術とスペースである。動物園では古くから、様々な野生動物を飼育するために研究が行われてきた。その研究は、主に比較解剖学や繁殖生理学、行動学などが中心であり、その研究成果は飼育動物の健康維持や繁殖のために役立てられてきた。動物園の長い歴史が蓄積した多くのデータが野生動物を絶滅から守るためにも使われることになる。もともと、動物園は動物を繁殖させることを喜びとしている面があり、そのための努力は昔々と続けられてきているのだから、積極的に希少動物の繁殖に取り組まなければならない。

また、多くの動物園が協力すれば、希少動物のためにかなりのスペースを用意することができる。アムールヒョウのように、自然界で維持できる個体数よりも動物園で維持されている個体数の方がずっと多くなってしまっている動物もいるくらいだ。だからといって、野生のアムールヒョウが絶滅しても仕方ないということではない。「動物園にいるから、とりあえずいいだろう」と考えることは絶対に許されない。動物園の動物たちは、いわば保険のようなものだから使われないにこしたことはない。万が一、自然界で絶滅してしまい、その後生息環境が復元されたとき、野生復帰の原資として使用されるべきものなのだ。

動物園では、基本的なスペースを提供し、人工授精や受精卵移植など繁殖のためのあらゆる技術を動員して希少動物を維持していかなければならない。野生動物を絶滅から救うために…。



新 動物病院VETニュース

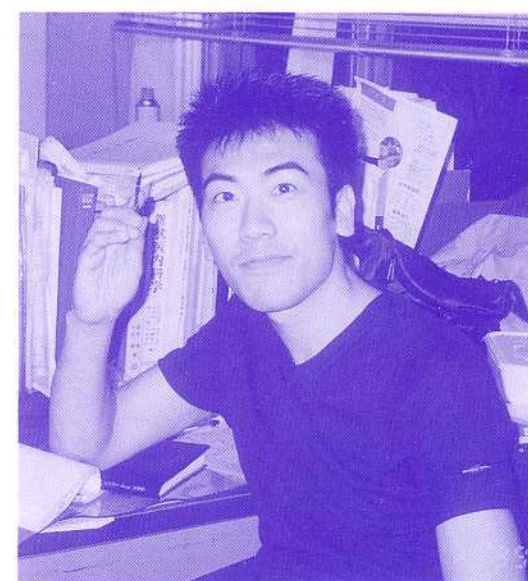
みなさん、はじめまして。4月から旭山動物園の動物のお医者さんになった福井大祐です。今回から動物病院Vetニュース担当ということで、張り切っていきます。まずは簡単な自己紹介からさせていただきます。動物園に来る前は、出身地の滋賀県の動物病院でお医者さんをしていました。(滋賀県って、どこにあるか知っていますか?そう、琵琶湖のある、京都のとなりです。)その前は、まだ大学生で獣医さんのたまごでした。学生時代は1年間大学を休んでオーストラリアに住んでいましたが、動物や獣医学について学んだり、あちこち旅行したり、ダイビングしたり…勝手気ままに学生を楽しんでいました。

今年3月まで診ていたのはイヌ、ネコがほとんどで、他にはウサギ、ハムスター、小鳥…、いわゆる小動物とかペットといわれる動物でした。しかし、今回、対象動物の範囲が一気に広がり、は虫類、野鳥からライオン、チンパンジー、キリン、ゾウまで。現在、毎日、先輩たちに教わりながら、一生懸命修行しています。

4月から今までの感想としては、動物園動物と野生動物はペットとは違って、ストレスを受けやすく、実際に手で触ったり、詳しい検査や集中治療がやりにくいので、病気がケガになっていても発見が遅れたり、治療しても思い通りに成果が上がらなかつたりとなかなか苦労します。ここで大切なのは観察力と、どうい治療計画が最適なかの判断力だと思います。日々、病気がケガの動物を前に、治したい!という一心で治療に取り組んでいます(でも、動物にしてみれば単にイヤなやつとしか思われなけれど…でも、いいもん)。

あと、獣医の仕事以外にも、ラクダの飼育を担当しており、ヒグマ・ソウ・サルなどの動物を飼育する日もあります。イヌ・ネコを飼育するのは訳が違うので、これも日々先輩たちに教わりながら、トレーニング中です。まず、動物たちを知ることからスタートです。Super Vet(スーパー獣医)目指して、頑張りますので今後よろしくお願いします。

次回からは、大ちゃん-動物園のお医者さん奮闘記をみなさんにお伝えしていきます。



ガンバリマス!!

クイズ

みなさんお待ちいたしました。ついに新さる山が完成しました。

「やったー！場所はどこ？」

旧サル山を壊して前と同じ場所に作りました。

「早く見たーい！でも、さる山ができるまで、おさるさんたちはどこにいたの？」

そこで問題です。建て替え工事中、サルたちはどこにいたでしょう？

1. ちょっとせまいけど、前にトラとライオンがいた獣舎で飼っていた。
2. よその動物園に預かってもらっていた。
3. 寝室だけ先に作って、そこで飼っていた。



55号の正解者

正解は2番でした。

キーホルダー当選者

旭川市 村田 悦子さん
旭川市 馬場 幸子さん
旭川市 笠谷つづらさん

正解者の中から抽選で3名の方に旭山動物園特製エゾシカの角キーホルダーが当たります。

応募方法はハガキに答と住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、旭山動物園モユク・カムイ係までお送り下さい。

応募×切

1999年9月30日

できごと

- 5月8日 絵本の読み聞かせ
- 16日 野鳥観察会
チンパンジー出産(17日死亡)
- 19日 オオヤマネコ・ユキヒョウ麻酔、健康検査・ワクチン
- 22日 ニホンキジ・キンケイ5羽
ネズミの食害
- 23日 アビシニアコロブス出産
- 24日 ブラッザゲエノン出産
- 26日 シマアジ、ミンクによる食害
アムールトラ・アムールヒョウ
麻酔、健康検査・ワクチン
- 28日 シロテテナガザル出産
オオコノハズク、ネズミによる食害
- 6月3日 チンパンジー、ジースイン
プラント埋め込み
- 7日 オジロワシ保護
- 9日 ネコ科動物糞便検査
- 12日 絵本の読み聞かせ
- 18日 ニホンザル死亡
- 25日 オセロット麻酔、健康検査・
ワクチン
- 26日 フクロウ観察会
- 7月7日 キリン麻酔削蹄



「サル舎3兄弟」

5月23日生まれ
アビシニアコロブス



5月24日生まれ
ブラッザゲエノン



5月28日生まれ
シロテテナガザル

飼育動物数

(6月30日現在)

哺乳類	51種	229点
鳥類	93種	531点
爬虫類	14種	60点
合計	158種	820点

編集後記

さる山が終わって、ペンギン舎の設計です。みなさんがあっと驚くアイデアを考え中です。年に一度は動物園、どうせ行くなり旭山。北海道民みんながそう思う日がきっと来ます。なんちゃって！関係者の方ごめんなさい。

今年はたくさんの動物が繁殖しています。中でもアカゲラの繁殖は快挙です。保護されて野性に返せないアカゲラをペアリングし繁殖に結びつけました。地道な取り組みが近い将来きっと大きな意味を持ちます。

モユク・カムイ No.56 平成11年8月15日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
発行 小菅正夫 <http://www.arc-net.co.jp/kodoka/shoukou2/sc02.html>
編集委員 中田真一・坂東元
印刷 谷川印刷株式会社 〒070-0831 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653